

三重県経済の動向（2021年12月） No. 531

【現在の景気】 持ち直しの兆しがみられる（※9～11月の指標より（一部除く））

新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に緩和される中で、持ち直しの兆しがみられる。生産は一部に持ち直しの動きがみられる。雇用は持ち直しの動きがみられる。個人消費は弱い動きとなっているものの、観光地及び商業地において人出の増加がみられる。

<当月のポイント>

- ・生産指数（10月）は前月比4か月ぶり上昇。輸送機械、電子、金属、プラスチック製品などが上昇。
- ・有効求人倍率（10月）は1.28倍。新規求人数は前年比8か月連続の増加。
- ・乗用車新車販売（11月）は前年比3か月連続減少も、減少幅縮小。百貨店・スーパー販売（全店）（10月）は6か月連続減少。消費支出（10月）は2か月連続減少。

【当面の見通し】 持ち直し基調となるも、下振れリスクは多くそのペースは緩やかにとどまる

感染状況の落ち着き、コロナワクチン接種の進展、自動車減産の緩和、各種政策効果等により、生産や消費が持ち直しに向かうものの、オミクロン株への懸念、半導体不足などの部品供給制約、原材料価格高騰等の下振れリスクがあり、そのペースは緩やかにとどまる見通し。

項目	基調判断			変化方向	頁
	【前々月】	【前月】	【今月】		
現在の景気 （総合判断）	持ち直しの動きが一服している	持ち直しの動きが一服している	持ち直しの兆しがみられる	↗	—
1. 景気動向指数 ／企業の景況感	改善／持ち直しの動きがみられる	改善／持ち直しの動きがみられる	改善／持ち直しの動きがみられる	→	2
2. 生産	足踏み	足踏み	持ち直しの動きがみられる	↗	3
3. 輸出	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	3
4. 設備投資	足踏み	足踏み	足踏み	→	4
5. 企業倒産	減少している	横ばい圏内となっている	横ばい圏内となっている	→	4
6. 雇用	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	5
7. 賃金	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	6
8. 個人消費	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	→	6
9. 住宅投資	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	7
10. 公共投資	足踏み	足踏み	足踏み	→	8

※1 網掛けは前月より基調判断を変更したもの。変化方向は前月の基調判断に対する今月の基調判断の修正方向。

※2 採用指標は作成時点で発表済みの最新値を使用している。

<担当> HRI 株式会社百五総合研究所

コンサルティング事業部 調査グループ 谷ノ上、片山 TEL 059-228-9105

1. 景気全般

(1) 景気動向指数

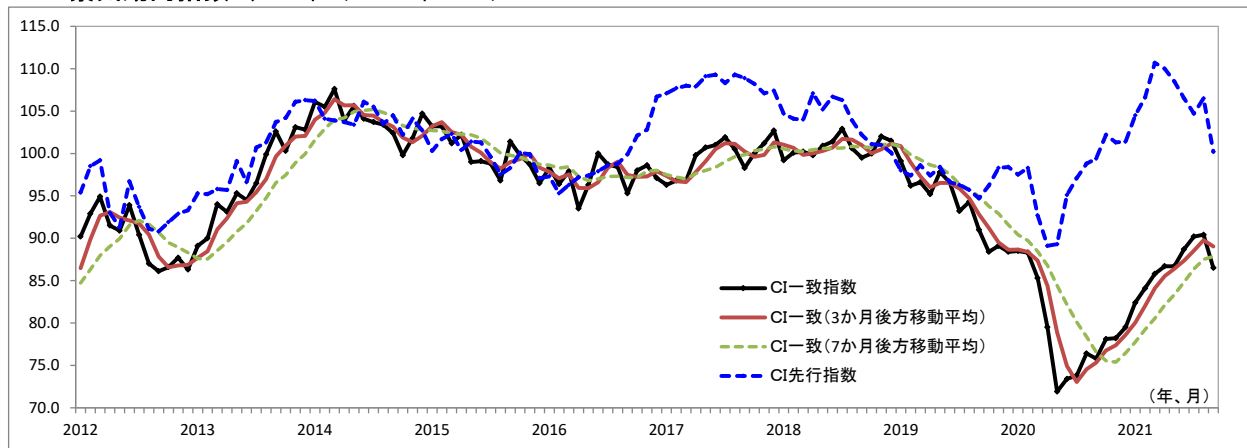
【現状】 <改善>

○9月の景気動向指数（CI）一致指数は、86.5で前月差 Δ 3.9ポイント。3か月後方移動平均（ Δ 0.74ポイント）は14か月ぶりの下降、7か月後方移動平均（+0.35ポイント）は10か月連続の上昇となり、「改善」を示している。

【見通し】

○9月の景気動向指数（CI）先行指数は、100.2で前月差 Δ 6.3ポイント。3か月後方移動平均（ Δ 2.10ポイント）は4か月連続の下降、7か月後方移動平均（ Δ 0.91ポイント）は14か月ぶりの下降となった。

■景気動向指数（CI）（2015年=100）



CIを用いた基調判断は三重県が内閣府の判断基準に準じて行った判断。

※「3か月後方移動平均」は足下の基調変化を表し、「7か月後方移動平均」は定着しつつある基調を表す。

資料：三重県「三重県景気動向指数（CI）」

(2) 県内企業の景況感

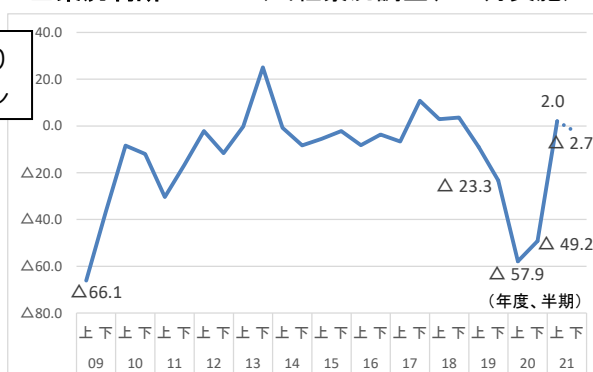
【現状】 <持ち直しの動きがみられる>

- 当社景況調査（半期）では、21年度上期の業況判断BSIは+2.0と、プラスに転じた。
- 法人企業景気予測調査（四半期）では、21年10-12月期の景況判断BSIは+0.8%ポイントの「上昇」超。

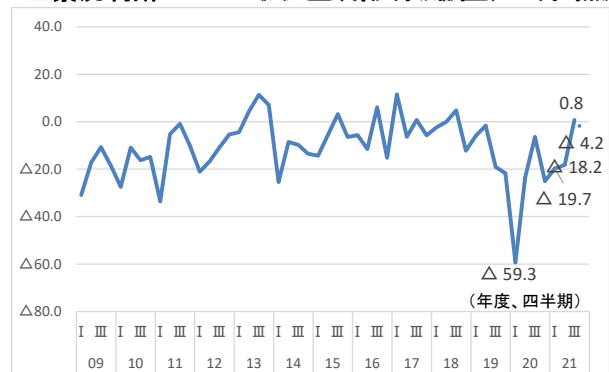
【見通し】

- 当社景況調査の21年度下期（見通し）の業況判断BSIは Δ 2.7で、若干のマイナス見通し。
- 法人企業景気予測調査の22年1-3月期（見通し）の景況判断BSIは Δ 4.2%ポイントで「下降」超に転じる見通し。

■業況判断BSI（当社景況調査、7月実施）



■景況判断BSI（法人企業景気予測調査、11月時点）



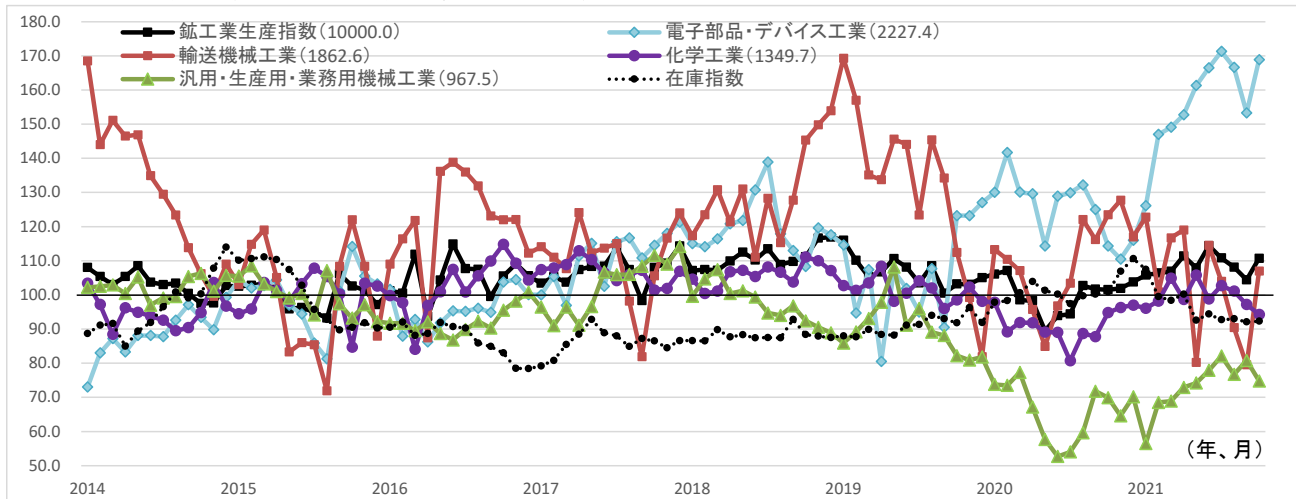
資料：当社「景況調査」（21年7月、444社）、東海財務局津財務事務所「法人企業景気予測調査」（21年11月、118社）

2. 生産

【現状】 <持ち直しの動きがみられる>

- 10月の鉱工業生産指数（季節調整済）は110.7で、前月比+6.0%と4か月ぶりの上昇、原数値は114.4で前年比+9.1%、8か月連続の上昇となった。
- 生産指数を業種別にみると、電子部品・デバイスは前年比9か月連続で上昇、前月比でも3か月ぶりの上昇となった。輸送機械は前年比3か月連続で低下したが、前月比では4か月ぶりの上昇となった。ホンダ鈴鹿製作所の稼働率は、正常化には至らないものの10、11月と徐々に上昇。また、金属製品やプラスチック製品なども前月比上昇した。一方、汎用・生産用・業務用機械、化学は前月比低下した。

■ 鉱工業生産指数・鉱工業生産者製品在庫指数（季節調整済値、2015年=100）



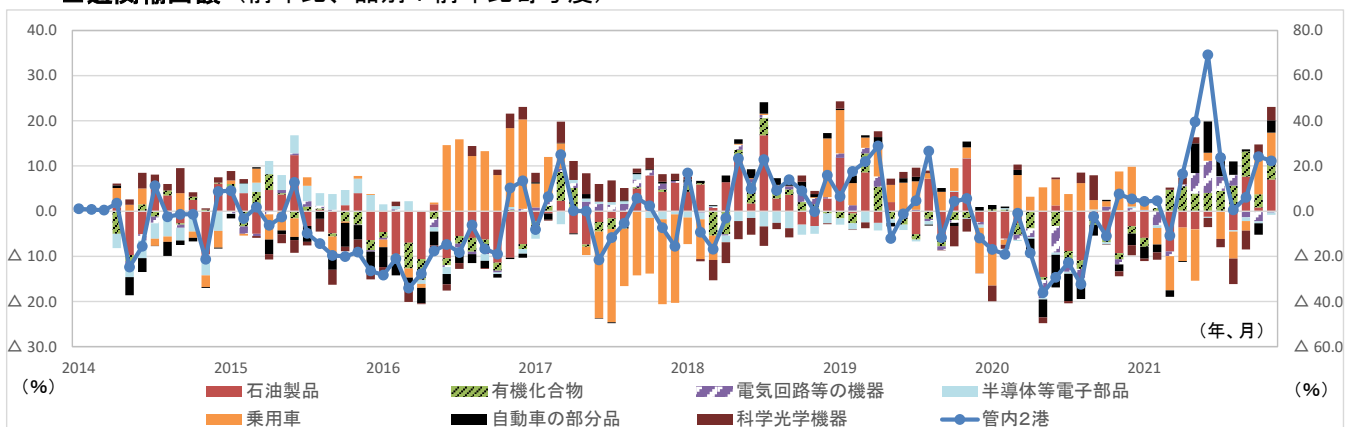
※資料：三重県「三重県鉱工業指数」

3. 輸出

【現状】 <持ち直している>

- 11月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比+22.2%と8か月連続の増加となった。このうち主要港である四日市港は前年比+27.8%となった。
- 四日市港の輸出主要品別にみると、電気回路等の機器や一般機械などが減少したものの、乗用車、石油製品、有機化合物やプラスチック製品などの化学製品、自動車の部分品、科学光学機器などが増加に寄与した。

■ 通関輸出額（前年比、品別：前年比寄与度）



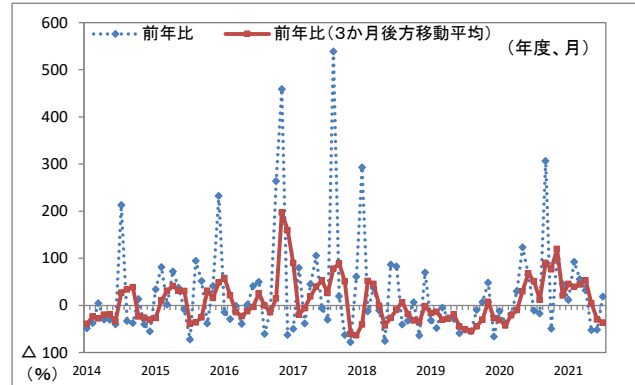
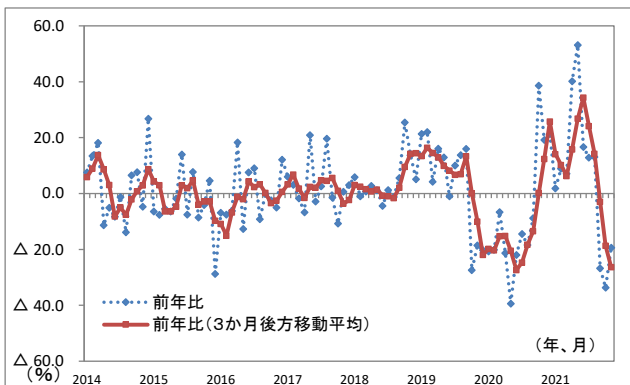
※折れ線グラフは県内2港の前年比。棒グラフは四日市港の主要品目の前年比増減寄与度。

4. 設備投資

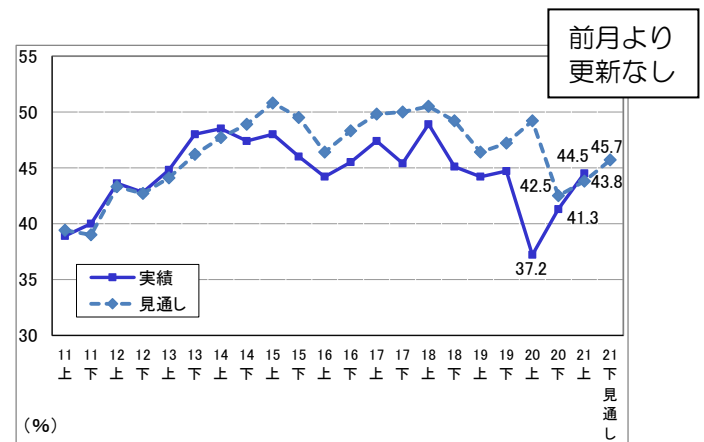
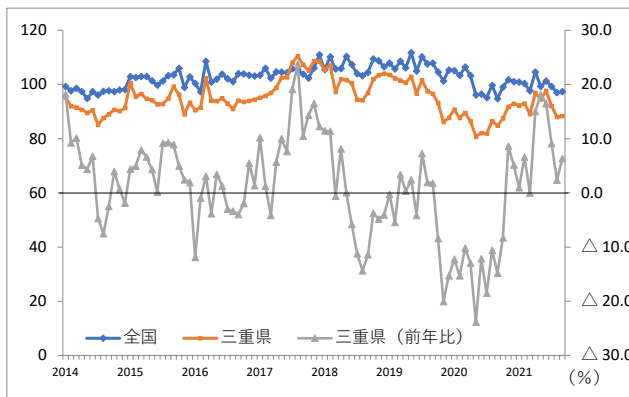
【現状】 <足踏み>

- 11月の貨物車新車登録・販売台数（普通+小型+軽）は前年比△19.3%となり、3か月連続の減少となった。小型貨物（+0.3%）は3か月ぶりの増加となったが、普通貨物（△33.0%）、軽貨物（△23.4%）は3か月連続の減少となった。
- 10月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比+18.8%と3か月ぶりの増加となった。
- 9月の地域別民間企業設備投資総合指数は、前年比6か月連続の上昇となった。
- 当社景況調査（7月実施）では、21年度上期に設備投資を実施した企業割合は44.5%となり、20年度下期（41.3%）及び見通し（43.8%）を上回った。21年度下期は45.7%とわずかながら上昇する見通し。

■貨物車新車登録・販売台数（普通・小型・軽、前年比） ■民間非居住用建築物着工床面積（前年比）



※資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会／国土交通省「建築物着工統計」



※地域別民間企業設備投資総合指数の三重県は参考値。前年比は原数値による。公表は四半期ごと。2021年7月調査

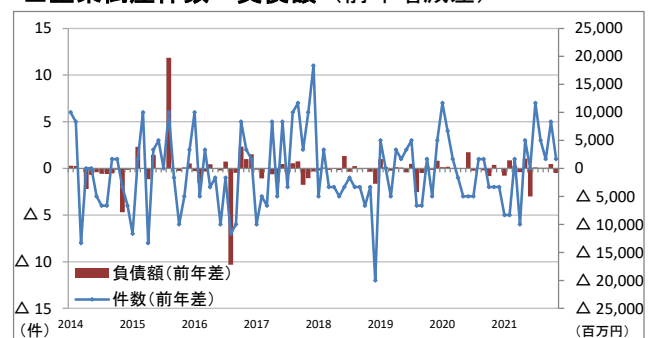
5. 企業倒産

【現状】 <横ばい圏内となっている>

- 11月の企業倒産件数は5件（前年差+1件）で、21年1月からの累計では2か月連続の増加。負債額は2億39百万円（前年差△8億1百万円）で、累計では6か月連続の減少となった。

※負債額 1,000 万円以上 資料：(株)東京商工リサーチ

■企業倒産件数・負債額（前年増減差）

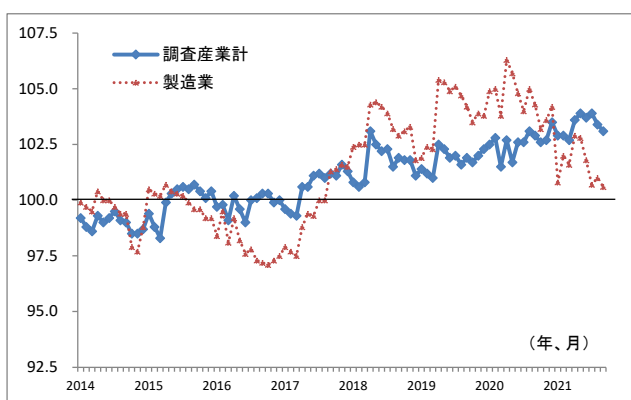


6. 雇用

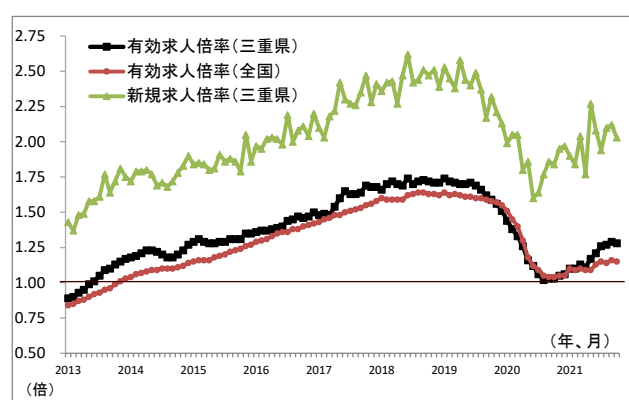
【現状】 <持ち直しの動きがみられる>

- 9月の常用雇用指数は103.1で、前年比+0.2%となり、16か月連続の上昇となった。製造業は100.6で前年比△3.5%となり、9か月連続の低下となった。
- 10月の有効求人倍率（季調済）は1.28倍で、前月比△0.01ポイントとなった。有効求人数（原数値）は前年比+12.0%で6か月連続の増加、有効求職者数（原数値）は△9.3%で4か月連続の減少となった。
- 10月の正社員有効求人倍率（原数値）は0.96倍となり、6か月連続で前年を上回った。
- 10月の新規求人数（原数値）を産業別にみると、宿泊業、飲食サービス業は前年比2か月連続の減少、建設業は3か月ぶりの減少となったが、製造業は8か月連続の増加、サービス業（他に分類されないもの）は9か月連続の増加、医療、福祉、運輸業、郵便業は2か月ぶりの増加、卸売業、小売業は3か月連続の増加となった。

■常用雇用指数（2015年=100）



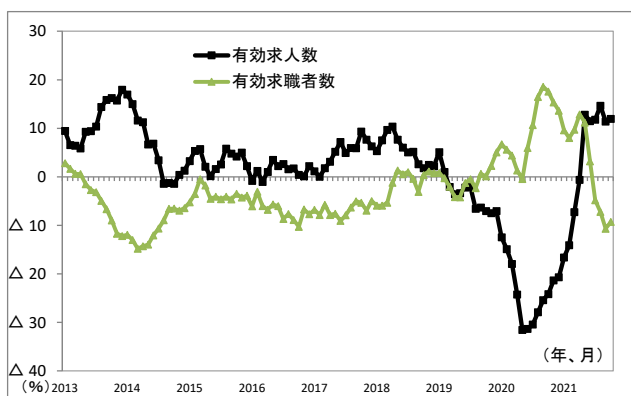
■有効求人倍率・新規求人倍率（季節調整済値）



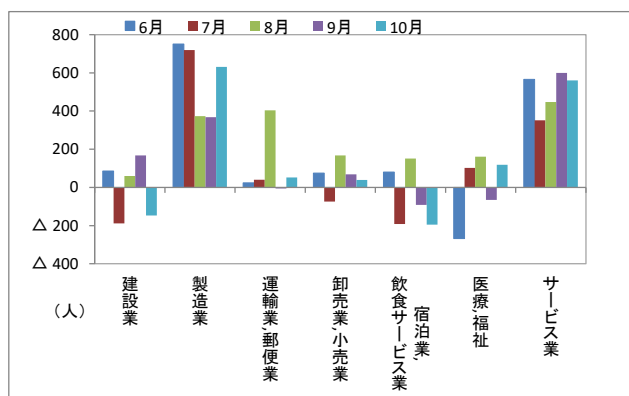
※常用雇用指数は、雇われて就業している者の数（正社員+パートタイム労働者）を指数化したもの

資料：三重県「毎月勤労統計調査」、三重労働局「一般職業紹介状況」

■有効求人数・有効求職者数（原数値、前年比）



■新規求人数（主要産業別）（原数値、前年増減差）



※新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。

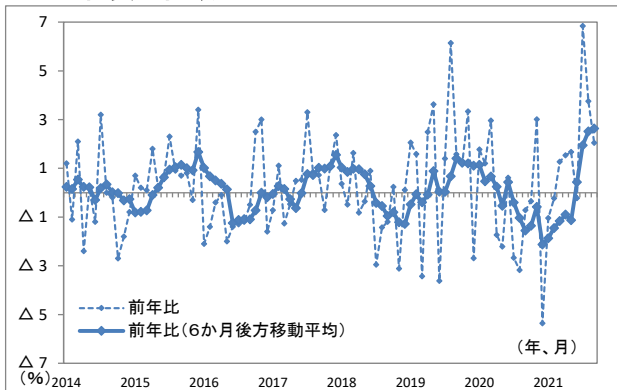
資料：三重労働局「一般職業紹介状況」

7. 賃金

【現状】 <持ち直しの動きがみられる>

- 9月の名目賃金指数（現金給与総額）は、調査産業計が前年比+2.0%となり、3か月連続の上昇となった。6か月後方移動平均（+2.6%）は4か月連続の上昇となった。
- 9月の所定外労働時間指数は、調査産業計が前年比+6.8%で6か月連続の上昇、製造業は前年比+20.3%で、6か月連続の上昇となった。

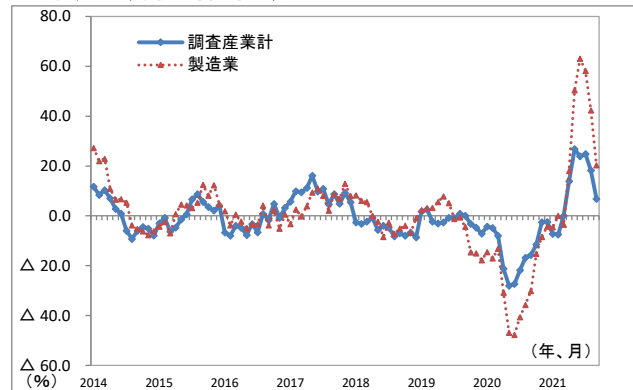
■名目賃金指数（現金給与総額、前年比）



※事業所規模5人以上、2015年=100

資料：三重県「毎月勤労統計調査」

■所定外労働時間指数（前年比）

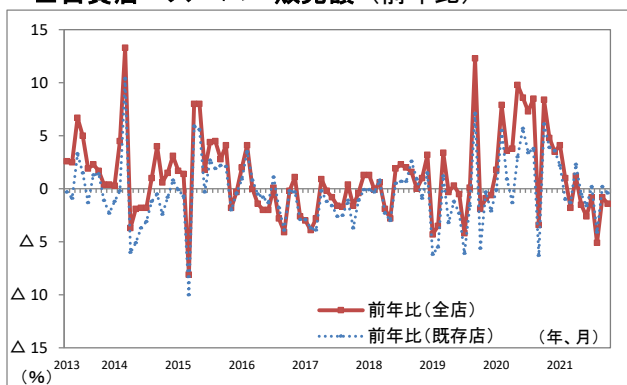


8. 個人消費

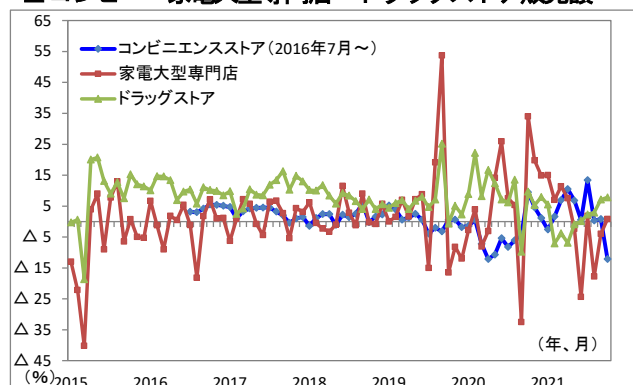
【現状】 <弱い動きとなっている>

- 10月の百貨店・スーパー販売額は、全店（前年比△1.4%）は6か月連続の減少、既存店（△0.4%）は2か月ぶりの減少となった。
- 10月のコンビニエンスストア販売額（△12.1%）は前年比9か月ぶりの減少となったが、ドラッグストア販売額（+7.8%）は5か月連続の増加、家電大型専門店販売額（+0.8%）とホームセンター販売額（+1.6%）はいずれも3か月ぶりの増加となった。
- 11月の乗用車新車登録・販売台数（普通+小型+軽）（△14.1%）は、前年比3か月連続の減少も、減少幅は縮小。普通（△24.8%）は3か月連続の減少、小型（△2.2%）は7か月連続の減少、軽（△9.7%）は5か月連続の減少となった。
- 10月の家計消費支出（津市・勤労者世帯）（△17.2%）は前年比2か月連続の減少となった。可処分所得（+6.9%）は2か月連続の増加となった。

■百貨店・スーパー販売額（前年比）



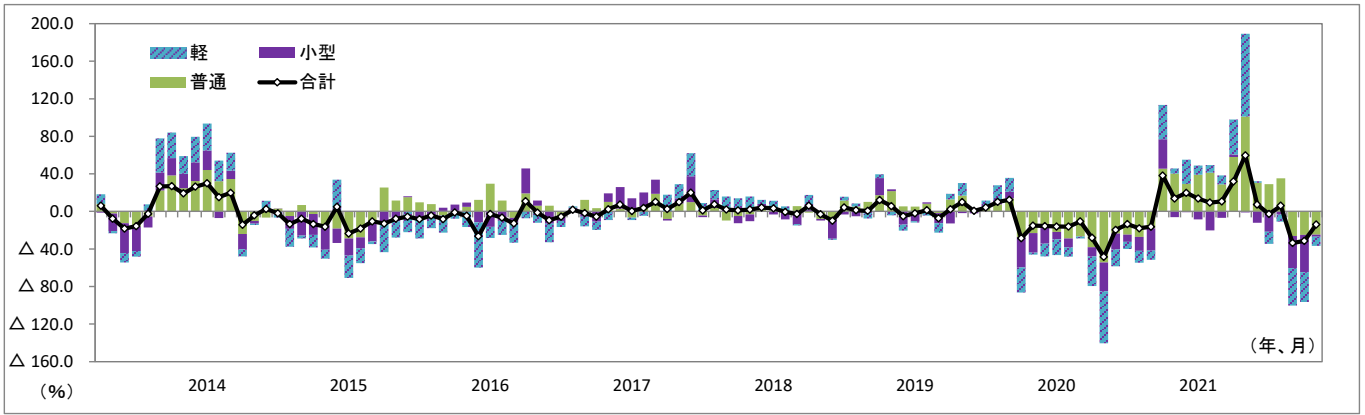
■コンビニ・家電大型専門店・ドラッグストア販売額



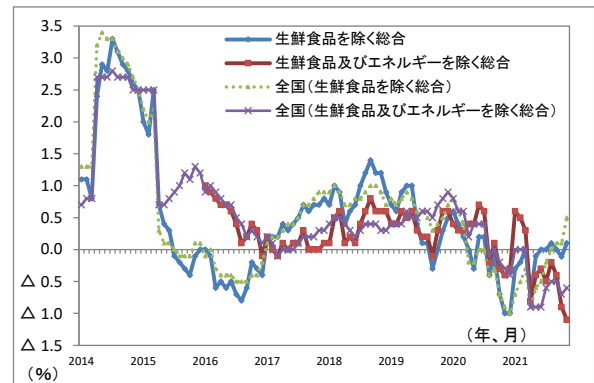
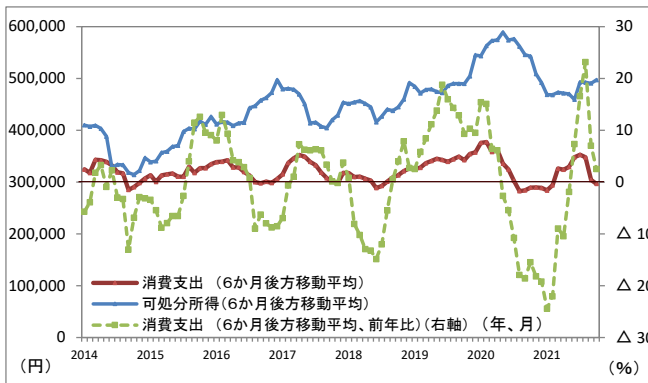
※既存店とは、調査対象事業所の定義変更及び異動(開店、廃業)があった場合、当月及び前年同月とも調査の対象となった事業所をいい、前年同月比の算出はその事業所のみで行っている。

資料：経済産業省「商業動態統計」

■乗用車新車登録・販売台数（普通・小型・軽乗用車の合計、前年比）



資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会



※消費支出・可処分所得は、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯あたりの月平均。

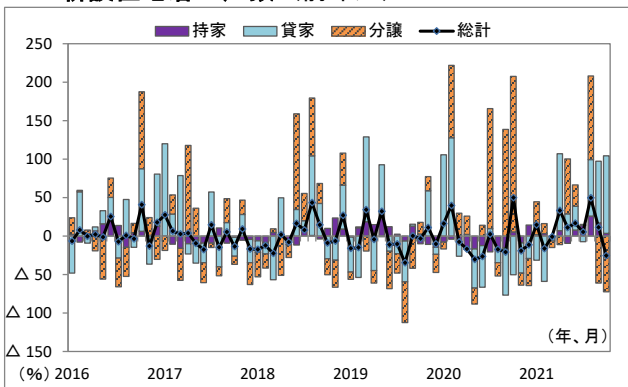
資料：三重県・総務省統計局「家計調査」、総務省「消費者物価指数」

9. 住宅投資

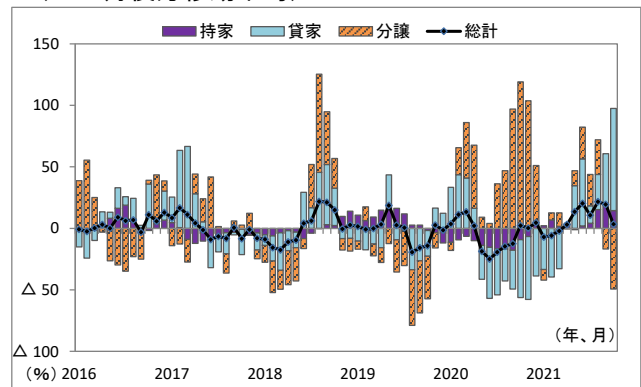
【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞

○10月の新設住宅着工戸数は、前年比 $\Delta 25.4\%$ で7か月ぶりの減少となったが、3か月後方移動平均(+3.5%)では7か月連続の増加となった。持家(+3.4%)は5か月連続の増加、貸家(+100.7%)は3か月連続の増加となったが、分譲($\Delta 72.4\%$)は2か月連続の減少となった。床面積($\Delta 20.9\%$)は7か月ぶりの減少となった。

■新設住宅着工戸数（前年比）



（3か月後方移動平均）



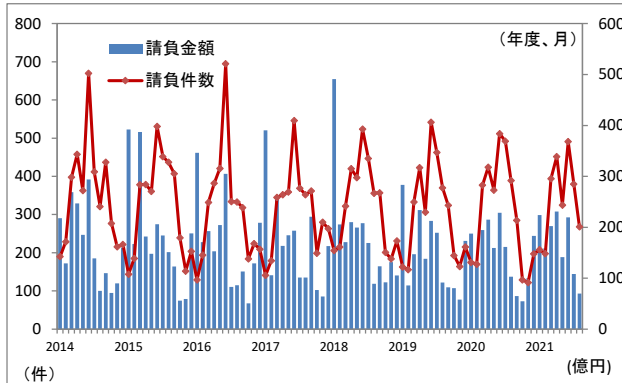
※総計は、持家、貸家、分譲、給与住宅の合計

10. 公共投資

【現状】＜足踏み＞

- 11月の公共工事請負件数は前年比△31.1%、請負金額は△32.0%の減少となった。請負金額の年度累計（4月～11月）は今年度初めて減少に転じた。
- 年度累計の請負金額について、発注者別にみると、中日本高速道路株（+115.2%）、県土整備部（+10.9%）などは増加したが、市町（△9.0%）、県農林水産部（△18.6%）、県企業庁（△20.8%）などが減少した。工事場所別では、伊勢市、鈴鹿市、尾鷲市などで大きく減少した。

■公共工事請負件数・請負金額



■公共工事請負件数・請負金額（年度累計・前年比）



※前払金保証取扱高（工事場所ベース：工事場所が三重県であったもの）

資料：東日本建設業保証(株)

＜トピックス＞

- ◆ 四日市商工会議所、四日市港利用促進協議会等で構成する四日市みなとまちづくり協議会は11月1日、四日市地区の活性化に向けた将来像を描く「四日市みなとまちづくりプラン〔基本構想〕」を策定。「モノ・ヒトがともに集う 出会い・憩い・賑わいのみなとまち ～新たなよっかいち庭浦～」を将来像に掲げ、千歳運河賑わい創造プロジェクトや第1埠頭及び周辺地区再生プロジェクトなど6つのプロジェクトと2つの継続的な取組をまとめた。
- ◆ 三重県は11月20日、環境改善や環境保全に特化した資金を調達するための債券「みえグリーンボンド」を2022年2月に発行すると発表。ESG投資に関心の高い新規投資家の開拓、安定的な資金の調達により、地球温暖化対策への取組を着実に実施する。発行額は50億円、発行年限は10年債。調達した資金は、電気自動車やハイブリッド車両の購入などの温室効果ガス排出削減・吸収源対策、農産物の品種や生産技術の開発などの気候変動の影響の軽減対策などに充当される。
- ◆ 神宮司庁によると、11月の伊勢神宮の参拝者数は約52万人となり、夏休みを含む8月より26万人、10月より17万人増加した。また、NTTドコモによると、商業施設や飲食店が集積する近鉄四日市駅周辺の人出は、11月中頃より増加傾向となり12月20日時点で前年同月比19日連続の増加となった。また、近畿日本鉄道(株)（大阪）は12月10日、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることを踏まえ、大晦日から元旦にかけての終夜運転を2年ぶりに実施すると発表した。
- ◆ 総務省は11月30日、「令和2年国勢調査」の人口等基本集計結果確報（2020年10月1日現在）を公表。三重県の総人口は1,770,254人（全国22位）で、前回（2015年）に比べ45,611人減少。市町別にみると、人口が増加したのは朝日町と東員町、川越町、菰野町の4町のみ。
- ◆ ホンダは、鈴鹿製作所の12月の生産稼働率について、12月2日時点では正常化すると発表した。半導体不足や海外のコロナ感染症に伴うロックダウン等の影響で部品調達や物流に遅延が生じ、16日時点では約9割にすると発表。今後の動きが注視される。

三重県主要経済指標

	景気動向指数C I (先行) (2015年=100)		景気動向指数C I (一致) (2015年=100)		業況判断BSI (年度半期)			景況判断BSI (年度四半期)	鉱工業生産指数 (2015年=100)		鉱工業在庫指数 (2015年=100)	
	前月差		前月差		製造業	非製造業		*1 *2	前月比	*1 *2	前月比	
2018年	—	—	—	—					111.1	3.5	88.1	2.6
2019年	—	—	—	—					106.6	△ 4.1	90.9	3.2
2020年	—	—	—	—					100.0	△ 6.2	101.4	11.6
20年 2月	98.3	0.8	88.3	△ 0.2				△ 21.8	107.1	0.9	98.3	0.5
3月	92.7	△ 5.6	85.3	△ 3.0					98.5	△ 8.0	100.6	2.3
4月	89.1	△ 3.6	79.5	△ 5.8					98.3	△ 0.2	103.9	3.3
5月	89.3	0.2	71.9	△ 7.6				△ 59.3	89.5	△ 9.0	101.3	△ 2.5
6月	95.1	5.8	73.4	1.5	△ 57.9	△ 63.2	△ 50.8		93.9	4.9	100.2	△ 1.1
7月	97.1	2.0	73.8	0.4					94.4	0.5	97.4	△ 2.8
8月	98.8	1.7	76.4	2.6				△ 23.4	102.7	8.8	99.7	2.4
9月	99.4	0.6	75.8	△ 0.6					101.7	△ 1.0	100.2	0.5
10月	102.2	2.8	78.1	2.3					101.5	△ 0.2	100.9	0.7
11月	101.3	△ 0.9	78.2	0.1				△ 6.4	101.9	0.4	106.9	5.9
12月	101.4	0.1	79.5	1.3	△ 49.2	△ 50.0	△ 45.1		103.8	1.9	110.6	3.5
21年 1月	104.5	3.1	82.4	2.9					105.8	1.9	107.5	△ 2.8
2月	106.6	2.1	84.1	1.7				△ 25.0	106.4	0.6	99.5	△ 7.4
3月	110.7	4.1	85.8	1.7					106.9	0.5	98.4	△ 1.1
4月	110.0	△ 0.7	86.7	0.9					111.4	4.2	100.2	1.8
5月	108.5	△ 1.5	86.7	△ 0.0	2.0	10.3	△ 2.4	△ 19.7	107.9	△ 3.1	92.6	△ 7.6
6月	106.5	△ 2.0	88.7	2.0					114.4	6.0	94.4	1.9
7月	104.7	△ 1.8	90.2	1.5				△ 18.2	110.8	△ 3.1	92.7	△ 1.8
8月	106.5	1.8	90.4	0.2					108.1	△ 2.4	93.0	0.3
9月	100.2	△ 6.3	86.5	△ 3.9					104.4	△ 3.4	92.1	△ 1.0
10月	—	—	—	—					110.7	6.0	92.3	0.2
11月	—	—	—	—	△ 2.7	6.1	△ 5.7	0.8	—	—	—	—

資料出所 三重県戦略企画部統計課 株式会社百五総合研究所 津財務事務所 三重県戦略企画部統計課

	輸出 (億円)		輸入 (億円)		貨物車販売				非居住用建築物 着工床面積		企業倒産 *4	
	*3	前年比	*3	前年比	普通+小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)		(㎡)		件数	負債額
					(台)	前年比	(台)	前年比		前年比	(件)	(百万円)
2018年	8,589	6.8	17,938	25.8	5,568	△ 1.2	8,638	8.1	924,953	△ 27.9	67	13,582
2019年	9,077	5.7	16,577	△ 7.6	6,061	8.9	8,594	△ 0.5	622,024	△ 32.8	68	12,137
2020年	7,723	△ 14.9	11,463	△ 30.9	5,162	△ 14.8	8,107	△ 5.7	773,702	24.4	66	14,125
20年 2月	623	△ 19.1	1,272	△ 10.5	451	△ 28.8	691	△ 13.2	36,985	48.3	9	869
3月	827	△ 1.0	1,298	△ 3.8	648	△ 8.6	857	△ 5.1	31,489	△ 65.8	4	241
4月	650	△ 18.5	943	△ 33.8	376	△ 14.7	477	△ 25.8	57,081	△ 11.7	7	835
5月	437	△ 36.1	630	△ 51.8	278	△ 34.9	407	△ 42.1	26,766	△ 37.8	3	442
6月	475	△ 29.4	688	△ 51.2	390	△ 24.6	627	△ 20.2	49,963	△ 18.5	4	5,294
7月	593	△ 22.8	773	△ 42.6	384	△ 32.0	710	△ 0.6	56,481	30.5	3	525
8月	604	△ 32.4	865	△ 33.8	368	△ 32.0	560	△ 6.0	72,265	123.7	4	490
9月	671	△ 2.5	936	△ 29.7	554	△ 14.2	800	△ 4.5	87,698	65.6	4	128
10月	673	△ 11.0	907	△ 30.7	454	30.8	791	43.6	45,323	△ 10.6	7	471
11月	758	7.5	780	△ 42.1	479	21.6	881	17.9	47,117	△ 16.8	4	1,040
12月	762	5.4	976	△ 36.3	435	24.3	648	19.3	210,222	306.8	6	1,832
21年 1月	678	4.3	1,016	△ 27.2	341	△ 1.2	681	3.5	26,620	△ 49.1	6	665
2月	652	4.6	1,275	0.2	484	7.3	760	10.0	73,670	99.2	4	2,306
3月	738	△ 10.8	1,261	△ 2.8	664	2.5	949	10.7	45,805	45.5	5	688
4月	757	16.5	1,280	35.8	445	18.4	751	57.4	63,922	12.0	1	170
5月	609	39.5	1,106	75.7	366	31.7	683	67.8	51,547	92.6	6	2,173
6月	803	69.2	943	37.1	478	22.6	709	13.1	77,954	56.0	4	305
7月	734	23.7	1,036	34.0	482	25.5	753	6.1	74,719	32.3	10	705
8月	607	0.6	1,663	92.2	461	25.3	589	5.2	34,566	△ 52.2	7	582
9月	711	6.0	1,517	62.1	494	△ 10.8	498	△ 37.8	42,611	△ 51.4	5	221
10月	835	24.1	1,310	44.5	384	△ 15.4	442	△ 44.1	53,856	18.8	12	1,246
11月	926	22.2	1,695	117.3	422	△ 11.9	675	△ 23.4	—	—	5	239

資料出所 四日市税関支署(四日市港、津港の合計) 三重県自動車販売協会 三重県軽自動車協会 国土交通省 検東京商工リサーチ

	常用雇用指数 *5				有効				新規求人 倍率	名目賃金指数 *5 (現金給与総額)		
	調査産業計 (2015年=100)		製造業 (2015年=100)		求人倍率 *1*2 (倍)	求人数 *6 (人)	前年比	求職者数 *6 (人)	前年比	*1*2 (倍)	前年比	
		前年比		前年比								
2018年	101.7	1.0	103.2	3.5	1.71	39,170	5.4	22,953	△ 1.4	2.43	99.6	△ 0.5
2019年	101.8	0.1	104.0	0.8	1.66	37,800	△ 3.5	22,807	△ 0.6	2.40	100.2	0.6
2020年	102.6	0.8	104.6	0.6	1.16	28,953	△ 23.4	24,984	9.5	1.87	99.2	△ 1.0
20年 2月	102.8	1.6	105.0	2.5	1.38	34,108	△ 14.9	23,022	5.6	2.05	84.3	1.2
3月	101.5	0.5	103.8	1.5	1.33	33,145	△ 17.9	24,058	4.4	2.05	86.9	3.0
4月	102.7	0.2	106.3	0.9	1.26	29,153	△ 24.2	24,425	1.3	1.80	84.9	△ 1.7
5月	101.7	△ 0.6	105.7	0.4	1.16	25,575	△ 31.6	24,190	△ 0.4	1.86	83.9	△ 2.2
6月	102.6	0.7	104.8	△ 0.1	1.12	25,869	△ 31.4	25,259	5.9	1.60	131.1	0.6
7月	102.6	0.6	104.0	△ 1.0	1.06	26,100	△ 30.4	25,718	10.7	1.64	119.9	△ 2.7
8月	103.1	1.5	105.0	0.3	1.02	26,177	△ 27.9	26,253	16.5	1.77	85.3	△ 3.2
9月	102.9	1.0	104.3	0.1	1.03	27,116	△ 25.4	26,856	18.6	1.86	83.0	△ 0.7
10月	102.6	0.9	103.2	△ 0.3	1.03	28,108	△ 24.2	27,321	17.6	1.84	85.1	△ 0.4
11月	102.7	0.7	103.6	△ 0.3	1.05	29,107	△ 21.3	26,083	15.3	1.95	92.5	3.0
12月	103.5	1.2	104.2	0.4	1.06	28,522	△ 20.7	24,498	13.6	1.97	167.7	△ 5.4
21年 1月	102.9	0.4	100.8	△ 3.9	1.10	28,721	△ 16.6	24,254	9.6	1.90	85.2	△ 1.0
2月	102.9	0.1	102.0	△ 2.9	1.10	29,300	△ 14.1	24,861	8.0	1.84	84.1	△ 0.2
3月	102.7	1.2	101.6	△ 2.1	1.13	30,740	△ 7.3	26,396	9.7	2.04	88.0	1.3
4月	103.6	0.9	102.9	△ 3.2	1.11	28,975	△ 0.6	27,566	12.9	1.77	86.2	1.5
5月	103.9	2.2	102.8	△ 2.7	1.17	28,855	12.8	26,900	11.2	2.27	85.3	1.7
6月	103.7	1.1	101.8	△ 2.9	1.21	28,837	11.5	26,068	3.2	2.08	130.8	△ 0.2
7月	103.9	1.3	100.7	△ 3.2	1.26	29,178	11.8	24,473	△ 4.8	1.94	128.1	6.8
8月	103.4	0.3	101.0	△ 3.8	1.27	30,019	14.7	24,351	△ 7.2	2.10	88.5	3.8
9月	103.1	0.2	100.6	△ 3.5	1.29	30,201	11.4	23,984	△ 10.7	2.12	84.7	2.0
10月	—	—	—	—	1.28	31,469	12.0	24,780	△ 9.3	2.03	—	—
11月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料出所 三重県戦略企画部統計課 三重労働局職業安定課

*1: 月別の数値は季節調整済値 *2: 年数値については原指数、前年比 *3: 2017年1月から、四日市港には四日市税関支署尾鷲出張所の通関分を含む。
 *4: 負債額1千万円以上 *5: 事業所規模5人以上 *6: 年数値は年間の月平均 *7: 既存店とは当月及び前年同月とも調査対象となった事業所
 *8: 前年(度、同期、同月)比増減率はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算している
 *9: 「家計調査」により津市において調査した世帯(単身世帯を除く)の1か月間の家計消費の状況(平均)。標本数が少ないため標本誤差が大きく、前年や全国の結果との比較の際には注意が必要。
 *10: 官公庁工事請負額の年数値は年度計

三重県主要経済指標

	所定外労働時間指数 *5				百貨店・スーパー販売額		乗用車販売				消費支出 *9	
	調査産業計		製造業		*7 *8	前年比	普通+小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)		(津市、二人以上の世帯のうち 勤労者世帯)	
	(2015年=100)	前年比 *11	(2015年=100)	前年比 *11	(百万円)	(既存店)	(台)	前年比	(台)	前年比	(円)	前年比
2018年	100.1	△ 5.2	102.5	△ 1.7	259,669	0.1	53,322	△ 0.1	32,501	1.5	307,460	△ 6.4
2019年	98.4	△ 1.7	99.9	△ 2.5	259,401	△ 2.2	51,181	△ 4.0	32,393	△ 0.3	350,081	13.9
2020年	85.0	△ 13.6	74.4	△ 25.5	303,980	2.3	44,665	△ 12.7	29,265	△ 9.7	306,464	△ 12.5
20年 2月	97.5	△ 4.9	92.7	△ 17.1	20,779	5.5	4,178	△ 20.2	2,896	△ 9.7	386,394	11.3
3月	94.3	△ 8.0	96.1	△ 13.2	24,935	0.9	5,634	△ 15.5	3,647	△ 2.2	305,301	△ 21.8
4月	82.0	△ 21.2	74.2	△ 30.8	24,087	△ 1.3	2,638	△ 25.6	1,787	△ 31.6	308,520	△ 5.8
5月	67.2	△ 28.1	53.4	△ 46.9	25,957	3.0	2,144	△ 43.8	1,117	△ 55.6	253,933	△ 24.9
6月	72.1	△ 27.3	53.4	△ 47.7	26,094	5.7	3,400	△ 20.7	2,146	△ 18.0	277,721	△ 15.3
7月	76.2	△ 21.8	59.0	△ 40.6	25,787	3.4	3,704	△ 17.2	2,558	△ 7.8	283,692	△ 6.6
8月	77.0	△ 16.8	59.6	△ 35.7	27,367	3.8	2,872	△ 21.6	2,198	△ 12.8	265,545	△ 29.6
9月	83.6	△ 15.7	69.1	△ 30.1	24,962	△ 6.3	4,414	△ 20.4	3,049	△ 9.7	315,546	△ 24.9
10月	88.5	△ 11.5	78.1	△ 15.2	25,363	6.1	4,162	39.1	2,606	36.6	339,490	18.3
11月	95.9	△ 2.5	84.3	△ 8.5	25,708	3.9	4,199	19.3	2,509	5.5	256,531	△ 37.4
12月	94.3	△ 2.5	87.1	△ 4.3	30,469	3.6	3,841	16.5	2,340	25.7	271,620	△ 21.7
21年 1月	84.4	△ 7.3	81.5	△ 4.6	26,542	2.2	4,044	16.2	2,650	9.9	254,835	△ 38.3
2月	90.2	△ 7.5	92.7	0.0	23,804	△ 1.0	4,598	10.1	3,136	8.3	326,087	△ 15.6
3月	94.3	0.0	92.7	△ 3.5	24,498	△ 1.3	6,278	11.4	3,993	9.5	507,603	66.3
4月	93.4	13.9	87.6	18.1	24,378	2.3	3,383	28.2	2,456	37.4	326,312	5.8
5月	85.2	26.8	80.3	50.4	25,579	△ 0.5	3,104	44.8	2,104	88.4	289,358	14.0
6月	89.3	23.9	87.1	63.1	25,403	△ 1.6	3,768	10.8	2,183	1.7	383,244	38.0
7月	95.1	24.8	93.3	58.1	25,579	0.2	3,858	4.2	2,227	△ 12.9	283,602	△ 0.0
8月	91.0	18.2	84.8	42.3	25,980	△ 4.1	3,347	16.5	2,026	△ 7.8	296,866	11.8
9月	89.3	6.8	83.1	20.3	24,774	0.2	3,114	△ 29.5	1,837	△ 39.8	245,170	△ 22.3
10月	—	—	—	—	25,005	△ 0.4	2,858	△ 31.3	1,781	△ 31.7	281,258	△ 17.2
11月	—	—	—	—	—	—	3,497	△ 16.7	2,265	△ 9.7	—	—
資料出所	三重県戦略企画部統計課				経済産業省		三重県自動車販売協会		三重県軽自動車協会		総務省統計局	

	新設住宅着工戸数		公共工事請負金額		消費者物価指数			
	(戸)		(億円)		(津市・生鮮食品を除く総合)		(津市・生鮮食品及び エネルギーを除く総合)	
	前年比	*10	前年比	(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比	
2018年	10,616	2.6	2,196	8.4	99.7	0.9	99.5	0.4
2019年	10,162	△ 4.3	1,776	△ 19.1	100.2	0.4	99.9	0.4
2020年	9,558	△ 5.9	1,777	0.1	100.0	△ 0.2	100.0	0.1
20年 2月	904	39.7	58	△ 55.9	100.2	0.4	99.9	0.3
3月	824	△ 7.6	173	64.2	100.4	0.2	100.2	0.3
4月	693	△ 16.8	188	△ 33.7	100.3	0.0	100.3	0.4
5月	669	△ 30.2	126	46.7	100.0	△ 0.3	100.1	0.4
6月	718	△ 26.6	194	32.1	99.9	0.2	100.0	0.7
7月	839	2.4	215	△ 8.1	100.1	0.2	100.2	0.6
8月	618	△ 17.3	160	15.4	99.9	△ 0.4	99.9	△ 0.2
9月	818	△ 20.7	228	7.3	99.7	△ 0.1	99.7	0.1
10月	1,210	49.9	161	△ 14.7	99.6	△ 0.7	99.8	△ 0.3
11月	756	△ 19.2	103	12.2	99.7	△ 1.0	100.0	△ 0.4
12月	798	△ 11.3	65	△ 20.9	99.7	△ 1.0	100.0	△ 0.3
21年 1月	815	14.6	55	△ 32.3	100.2	△ 0.3	100.6	0.6
2月	757	△ 16.3	100	71.4	100.1	△ 0.2	100.4	0.5
3月	817	△ 0.8	183	5.6	100.4	0.0	100.5	0.3
4月	923	33.2	224	19.3	99.6	△ 0.7	99.5	△ 0.8
5月	743	11.1	158	26.1	99.9	△ 0.1	99.7	△ 0.4
6月	838	16.7	202	4.1	99.9	0.0	99.6	△ 0.3
7月	883	5.2	231	7.4	100.1	0.0	99.7	△ 0.5
8月	925	49.7	141	△ 11.5	100.0	0.1	99.6	△ 0.2
9月	910	11.2	219	△ 3.9	99.8	0.0	99.3	△ 0.4
10月	903	△ 25.4	108	△ 33.1	99.6	△ 0.1	98.9	△ 0.9
11月	—	—	70	△ 32.0	99.8	0.1	98.9	△ 1.1
資料出所	国土交通省		東日本建設業保証機構		総務省統計局			